

平成22年度 熊本県教育会館

# 読書教育重点校 活動報告

平成23年3月28日 八代市立日奈久小学校



本年度から次年度にかけ、教育会館より「読書教育重点校」の助成を受けることになりました。本年度分の図書カード10万円分は、有効利用させて頂きました。

## 〈学校紹介〉

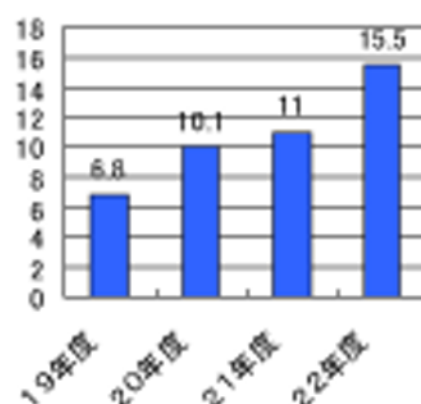
日奈久は、九州南西部海岸の代表的な温泉の町です。温暖な気候にも恵まれ、観光客・湯治客の憩いの場として親しまれ、平成21年は開湯600年を迎えました。

本校は、学級数9クラス（特別支援学級3クラスを含む）、全校児童106名の小規模校です。

近年の本校児童一人当たりの一か月の平均貸出冊数は、年々増加し、読書の幅にも広がりが見られるようになり、家庭との連携にも深まりが見られるようになりました。

「みんなが行きたくなるような学校図書館づくり ～ソフト・ハードの両面からアプローチする～」を学校図書館の目標に掲げ、取り組んできました。本年度の主な取組についてご紹介します。

一か月の平均貸出冊数



## 読書への啓発活動（ソフト面からのアプローチ）



〈全校一斉朝読書の様子〉

- ・毎週木曜日の朝の15分間は、教師とPTAによるローテーションの「読み聞かせ」をしています。
- ・毎週金曜日の朝の15分間は、「全校一斉朝読書」です。



〈保護者によるしおりの審査〉

「しおりコンテスト」を行いました。日曜参観の日に、保護者の方にも審査に協力していただきました。

## 〈読書への「アニメーション」～読む力を引き出すための読書教育法～

身につけたい力を明確にした上で授業を行うことにより、子どもたちはいつもより、絵や文に注視し、そこから考えたことを、自分なりの言葉で表現することができます。教師は、教育的な価値をもって取り組み、子どもたちは、ゲーム感覚で楽しく、かつ真剣に参加することができます。本校では、全クラスで実施しています。



〈アニメーションの発表〉

この他、「お話会」「読書クイズ」「必読書にチャレンジ!」「読書ビンゴ大会」「読んで貯めようブックバンク」「ブックトーク」「新着本の紹介」「家族ふれあい読書」「多読書賞」（年間100冊以上）、などを行っています。



読書環境づくり（ハード面からのアプローチ）～PTAの協力を得て～



棚番号が付いていた。



「ラベル」の張り替え作業を行いました。以前は、書架（本棚）に番号を付け、その番号が背表紙に貼ってありました。

しかし、本のラベルというものは、NDC(日本十進分類法)を基準としています。学校図書館が「学習・情報センター」として機能するためにも、NDCに準じたラベルを採用することは大切なことです。

そこで、夏休みにPTAの方や「図書館づくりプランナー」の方、学校図書館問題研究会の方などの協力を得て、張り替え作業を行いました。



〈古いラベルをはがす〉

PTAの方をお願いして「椅子カバー」の製作をしていただきました。そのお陰で、座面の



〈手づくりの椅子カバー〉

の破れも見えなくなりました。

以前は、ブルーのビニール製でしたが、ピンクのカバーを付けたことで館内全体が明るく温かい雰囲気になりました。

読書環境づくり（ハード面からのアプローチ）～図書館家具製作～

「図書館を生きかえらせる シリーズ3 図書館家具絵物語篇」(平湯文夫/作)を参考に、長崎県の竹村聡先生を講師としてお招きし、手づくりの図書館家具を製作しました。

材料には、SPF材やパイン集成材、コンパネなどを使用します。木の温かさを生かし、しかも安いコストでできるというメリットがあります。手づくり品の一部を紹介します。



いろいろな種類のブックスタンドを作りました。

SPF材を使用しました。この他に「窓下書架用ブックスタンド」も作りました。



〈手づくり小型卓上書架〉



〈卓上ブックスタンド〉



〈高さの違うブックスタンド〉



〈書架の中に入れて使うブックスタンド〉



「サイン板」や「案内板」を作りました。パイン集成材を使用しました。

文字の「おすすめ」は、カッティングシートを切り抜いたものです。

「2かいとしょかん」は、彫刻刀で彫り、油性塗料（カシュー）で着色したものです。



〈サイン板〉



〈案内板〉

「楕円展示台」を2つ（小と大）作りました。

コンパネを楕円の形にカットしました。廃棄した児童用机にビスで固定し、テーブルクロスを掛けました。



〈コンパネをジグソーで切る〉



〈楕円展示台、完成〉



館内と廊下に「すのこ掲示板」を設置しました。



〈館内のすのこ掲示板、完成〉



〈廊下のすのこ掲示板、完成〉

「入り口看板」を作りました。



〈糸のこで切り出す〉



〈入り口看板、完成〉

#### 〈成果と課題〉

- ・本年度から朝の開館時刻を、午前8時に早めました。それによって、始業時までの来館者は、約20～25名に増えました。特に、委員会活動や学校行事関係で忙しい高学年にとっては、8時からの開館は都合がいいようで、貸出冊数も増加しました。
- ・多読書賞（100冊以上）を受賞した子どもは、全体の64%に達しました。この子どもたちには、「新刊購入予約券・新刊予約券・図書貸出特別カード」をご褒美として渡しました。
- ・平成20年度より、卒業生からは卒業記念品として本の寄贈をいただいています。子どもたちが、書店に出向いて購入してくれるので、どの本も在校生がワクワクするような本ばかりです。
- ・NDCを基準に系統的に配架したことにより、本が簡単に探せる仕組みになりました。
- ・図書館家具の製作には、すべて木材を使用しました。子どもたちは、木の香りや手触りの良さを五感で感じ、心を癒していました。
- ・高さのある本を入れる書架が不足しており、横に倒して入れているので、予算があれば書架を購入したいのですが、これは課題です。
- ・読書教育重点校の助成を受けたことにより、子どもたちの好きな本を購入することができました。さらに、読書活動の推進に向けた取組を継続していきたいです。



〈卒業生より本の寄贈〉



〈3月の館内の様子〉